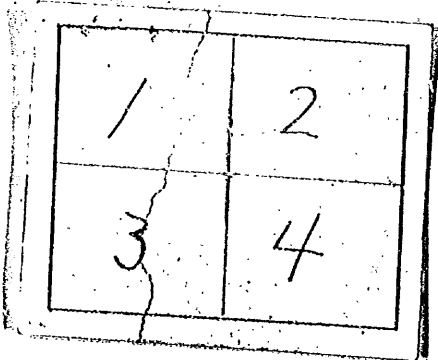


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



隊名 歩兵第一七七聯隊(四)

通稱號

満洲 二〇〇〇一

郵便所名

隊別	隊長名 (内は先代を示す)	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ連の變動	隊別 計	入ソ連人員	満洲 残留	收容所名	收容所	歸還人員	状況不明 者数
第一〇中隊	中尉 藤井 巖	五ノゴモト 西口 五台	西口、五台間 落伍者 五名 五台 戦死一〇名									
第一一中隊	中尉 渡邊與五郎	右同										
機關銃中隊	中尉 武藤 政夫	右同										
歩兵砲小隊	見士 那須 浩	右同										
大隊行		右同										

中尉 川崎政十郎

五ノゴモト

西口

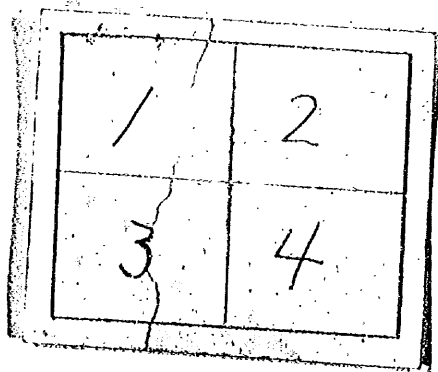
五台合戦計二〇三名

信通隊聯	隊中砲隊聯	李行隊大	隊小砲兵歩	隊中銃騎機	隊中一一第	隊中〇一第
中尉 佐藤 俊治	中尉 川崎政十郎 見士 大和		見士 那須 浩	中尉 武藤 政夫	中尉 渡邊興五郎	中尉 渡邊興五郎
右 同	溝又五 山出日	右 同	右 同	右 同	右 同	三ノ宮 三ノ宮
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	三ノ宮 三ノ宮
五什台損害なし	五什台戦士二〇三名				五什台、五五台、五五〇台、 五什台、戦死八名	五什台、五五台、五五〇台、 五什台、戦死八名

信通隊 聯	隊中砲隊 聯	手行隊 大	隊小砲兵步	隊中銃騎機	隊中一 一 第	隊中〇 一 第
中尉 佐藤 俊治	中尉 見土 大和 川崎政十郎		見土 那須 浩	中尉 武藤 政夫		中尉 藤原 五郎
右 同	溝又五 山出日	右 同	右 同	右 同	右 同	溝又五 ンゴモト
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	二 五 三 分 三
五什合損客なし	五什合損客二ノ三名					西口、五什合 菅正吉 五什合 愛野八名 一〇

REG. SECTION  
BISHA SECTION

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0551  
0552

第四四軍第一〇七師團 部隊名 歩兵第一七八聯隊(一)

通稱號

満洲 二〇〇〇二九

郵便所名

0553  
0554

全般概要  
一九、五、一六、編成下令  
開戦時第二大隊を除く主力  
は五又五連隊に在り  
二〇、八、九、開戦下より  
五又五連隊司令部の位置に  
終結  
新京警備の命で依り従軍行  
軍して新京に在り  
二〇、八、一三、西口にて  
敵軍部隊と遭遇し、一  
四日夜夜襲致行第一大隊の  
捕客大

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

員人編  
3478名

隊別  
隊長名  
(内は先代を示す)  
大佐 堀尾 茂光  
副官 戸口 憲一  
中尉 南 長  
中尉 原 科  
主中尉 原 科

駐屯地  
五又五 西口

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入「ソ」迄の變動

隊別  
入「ソ」人員  
計

満洲残留

二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 大 一 第	率 行 隊 聯	部 本 隊 聯	別 隊	時 員	駐 屯 地	戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗	終 戦 後 の 人 員 變 動	入「ソ」迄 の 變 動	隊 別 計	満 洲 残 留
少尉 加藤		大尉 綱澤 新平			(内は先代を示す) 大佐 堀尾 茂光 副官 戸口 憲一 中尉 南 長 中尉 原 科 主中尉 原 科	五又五	西口					
右 同	右 同	右 同	同 右	同 右								
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同								

3478名						員人数
二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 大 一 第	幸 行 隊 聯	部 本 隊 聯	別 隊	隊 長 名
少尉 加藤		大尉 網澤 新平				( )内は先代を示す 大佐 堀尾 茂光 中尉 戸口 憲一 中尉 長 中尉 南 主中尉 原科
右 同	右 同	右 同	同 右		五 濤	駐 屯 地
右 同	右 同	右 同	右 同		口 西	戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗
						終 戦 後 の 人 員 變 動
						入「ソ」迄の變動
						入「ソ」人員
						滿洲殘留
						收 容 所 名
						カダラ地盤 フハー收容所
						グアレー收容所
						ハルビン收容所
						收 容 所 人 員
						死 亡
						滿洲より領
						計
						者 数
						狀 況 不 明

部隊名 歩兵第一七八聯隊(一)

通稱號

風滿二〇〇〇二九

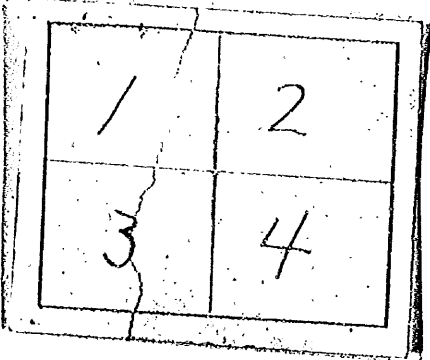
郵便所名







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	





第三十次大規模な空襲被害  
 被害者一、三〇、八、九、四、四、二、  
 被害者一、三〇、八、九、四、四、二、  
 被害者一、三〇、八、九、四、四、二、

二〇、八、九、四、四、二、  
 被害者一、三〇、八、九、四、四、二、

二〇、八、九、四、四、二、  
 被害者一、三〇、八、九、四、四、二、

二〇、八、九、四、四、二、  
 被害者一、三〇、八、九、四、四、二、

二〇、八、九、四、四、二、  
 被害者一、三〇、八、九、四、四、二、

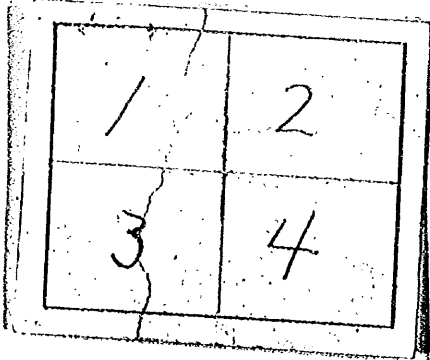
二〇、八、九、四、四、二、  
 被害者一、三〇、八、九、四、四、二、

二〇、八、九、四、四、二、  
 被害者一、三〇、八、九、四、四、二、

隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	隊行隊大	隊小砲兵歩	隊中銃砲機
見士 少尉 鈴木 博重 吉田	中尉 小川 公臣	大尉 津田 通雄 副官 見士 平田 主少尉 秋山 正 警少尉 黒田 敏雄		見士	六三
右 同	右 同	陽 遼	右 同	右 同	三又五
右 同	右 同	京 新	右 同	右 同	二 五



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



0563  
0560

第四四軍第一〇七師團 部隊名 歩兵第一七八聯隊(三)

通稱號 風滿二〇〇〇二九

郵便所名

0561  
0562

全般概要

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

員人制編

別隊

隊長名  
( )内は先代を示す

開人  
職員

駐屯地  
平時  
戰時

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ッ返の變動

入ッ人員  
隊別計

滿洲殘留

收

母隊主力は二〇、八、二九、イソト、ルにて武蔵野隊を編成、新編を以てチヘル小隊屯に收容

二〇、一〇、中包チヘル編成第一八、一九作業大隊に入り、同月下旬滿洲里に入ッ

第二大隊は八月下旬武蔵野、武蔵野隊を若干名を召喚、除す、なほ八月二〇日より九月二日の間、三〇名を含む五〇名の逃亡あり、九月上旬新編成第七作業大隊編成

第三大隊	大行隊	歩兵砲小隊	機關銃中隊	第六中隊	別隊
大尉 津野田	曹長 金子	少尉 中澤	中尉 原田 充	中尉 鈴木 重雄	( )内は先代を示す
溝又五	右同	右同	右同	陽 遼	開人 職員
口 西	右同	右同	右同	京 新	駐屯地 平時 戰時
					戰鬥間の狀況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より 入ッ返の變動
					入ッ人員 隊別計
					滿洲殘留
					收

大 三 第		李 行 隊 大		隊 小 砲 兵 步		隊 中 銃 開 機		隊 中 六 第		員 入 新 編
大尉 津野田		曹長 金子		少尉 中澤		中尉 原田 充		中尉 鈴木 重雄		別 隊
										隊 長 名 ( )内は先代を 示す
										開 入 戦 時 員
溝又五		右 同		右 同		右 同		陽 遊		駐 屯 地
口 西		右 同		右 同		右 同		京 新		平 時 戦 時
										戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
										終 戦 後 の 人 員 變 動
										作 業 大 隊 以 外 入 出 の 變 動
										入 出 人 員
										隊 別 計
										滿 洲 殘 留
										收 容 所 名
										所 入
										死 亡
										滿 洲 領 土 以 外
										歸 還 人 員 計
										者 數
										狀 況 不 明

部隊名 歩兵第一七八聯隊(三)

通稱號

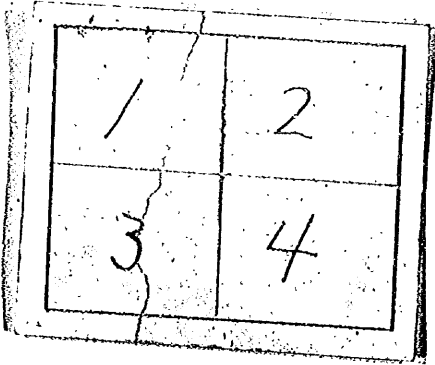
満洲 二〇〇〇二九

郵便所名





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0563  
0564

0565  
0566

所屬  
第四軍第一〇七師團  
部隊名  
歩兵第一七八聯隊(四)

通稱號

満洲  
二二〇〇〇二九

郵便所名

全数概要  
轉入  
轉出  
人員編

別隊

隊長名  
(内は先代を示す)

戰時人員

駐屯地

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ソノ返の變動

隊別計

入ソノ人員

滿洲残留

收

別隊	第八中隊	第九中隊	機關銃中隊	步兵砲小隊	大隊行	歩
大尉 西堀	大尉 津野田	少尉 宮田	少尉 田村 勝	少尉 西田 幸一		
溝又五	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	五又五
口西	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	
						聯隊主力と同行助

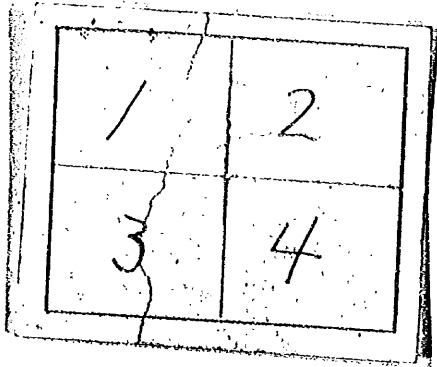


信通隊聯	隊中砲兵歩		率行隊大	隊小砲兵歩	隊中銃關機	隊中九第	隊中八第
中尉 竹田		少尉 西田 幸一		少尉 田村 勝	少尉 宮田	大尉 <sup>ケ</sup> 津野田	
溝又五	一部 遼陽	主力 五又溝	右同	右同	右同	右同	溝又五
口西	新京	西口	右同	右同	右同	右同	口西
		第二大隊と同行動					
		第一大隊と同行動					





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0567 第四四軍第一〇七師團 部隊名 搜索第一〇七聯隊

通稱號

風二〇〇〇七

郵便所名

0569

全般概要

轉入 轉出

員人編

別隊

隊長名

開人

駐屯地

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より入ソの變動

入ソ人員

満洲残留

収容

一九、五、一六、編成下令  
一九、六、三〇、編成完結  
二〇、八、九、主力五又派  
一部チナヘルに在り、敵機  
探察隊半隊編成につき、一  
二中隊全員の之由山甲  
隊機、交に入り歩一七七聯  
隊と陣地交代部隊の要隊隊  
を以て

自一九、九、三〇  
〇  
至一九、八、一  
五  
騎兵二八聯  
隊  
一九、六、三〇  
歩兵九〇聯  
隊  
一九、九、三〇  
混成七聯隊  
九二名

603名

第一中隊 第二中隊 第三中隊

少尉 太田  
中尉 島津 清一  
大尉 大山 輝千代

約100名 約100名 約100名

右同 右同 右同

開戦時「チナヘル」に在り、  
四軍の指揮下に入り戦平せるもの如し、  
詳細不明

003名

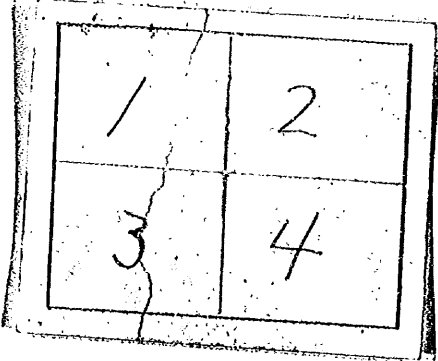
中 三 第	歩 兵 隊 中 二 第	歩 兵 隊 中 一 第	部 本 隊 聯	別 隊
大尉 大山輝千代	中尉 島津清一	少尉 太田	副官 西宮直吉 少佐 進藤 義彦	隊長 名 (内は先代を示す)
約100名	約100名	約100名		戦 闘 人 員 時 間
ルハチチ	右 同	右 同	溝又五	駐 屯 地
ルハチチ	右 同	右 同	台什五 口 西	戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗
開戦時「ラチヘル」に在り、 四軍の指揮下に入り戦死者の如し、 詳細不明				
終戦後の人員變動				
作業大隊より 入ソ迄の變動				
隊別 入ソ人員 計				
満洲残留				
収 容 所 名				
所 入 死 亡				
満洲ソ領 よりより 計				
者 数 状況不明				

隊名 搜索第一〇七聯隊  
通稱號 風二〇〇〇七  
郵便所名





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	





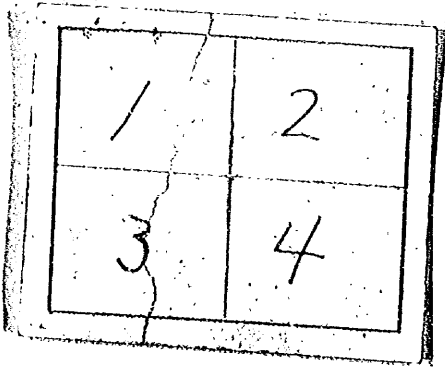
中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 大 一 第	部 本 隊 第	別 隊	隊 長 名	時 間	駐 屯 地	戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗	終 戦 後 の 人 員 変 動	入「ソ」返 の 變 動	入「ソ」人 員	滿 洲 殘 留	收 容 所 名	所 入 死 亡	歸 還 人 員	狀 況 不 明 者 数				
中尉 延川 一郎	中尉 茂木	大尉 熊谷 史郎 指揮班長 小山 卓雄 少尉	大佐 角田 文雄 指揮班長 中尉 長野 亘	( ) 内は先代を示す	約80名	約80	右 同	右 同	右 同	新伯徳 (榮作にて溝文五)	台什五 口 西	戰鬥間の狀況及損耗 第三大隊と共ニ歸國主力と同行也	終戦後の人員變動	作業天除より 入「ソ」返の變動	入「ソ」人員	滿洲残留	收容所名	所入 死亡	歸還人員	狀況不明者数
右 同	右 同	右 同	右 同		約80名	約80	右 同	右 同	右 同			戰鬥間の狀況及損耗 第二、八、一三二、三〇二、西方二村の地點 にて二ヶ分隊全滅	終戦後の人員變動	作業天除より 入「ソ」返の變動	入「ソ」人員	滿洲残留	收容所名	所入 死亡	歸還人員	狀況不明者数
右 同	右 同	倫 索	倫 索																	

部隊名 野砲兵第一〇七聯隊(一)  
通稱號 風二〇〇〇六  
郵便所名



隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 大 一 第	部 本 隊 三
中尉 宮森	中尉 砥川 一郎	中尉 茂木	大尉 熊谷 史郎 指揮班長 少尉 小山 卓雄	大佐 三浦 文雄 中佐 三浦 文雄 少佐 三浦 文雄
約80名	約80名	約80		
右 同	右 同	右 同	右 同	新佐徳 (兼作ては翁又三)
右 同	右 同	右 同	倫 索	台行五 日 五
		二〇、八、二二「ソレン」西方二杯の地盤 ア(二ヶ分隊全隊)		二〇、六、六「ソレン」西方二杯の地盤
		タルバカタ	ホルドイ	ソレン

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0575 0576 0577 0578  
 第四四章第一〇七師團 部隊名 野砲兵第一〇七聯隊(二)  
 通稱 號 風二〇〇〇六  
 郵便所名

全般概要

全 般 概 要  
 終中第二大隊は五又海軍  
 連中の第二大隊を掌握し  
 第一大隊の一分隊を陸上  
 に分散し敵陣中に入るに  
 通過し之を反撃命令を待  
 待他所に至る

二〇、八、一三、第一大隊  
 二〇、八、一三、第一大隊  
 二〇、八、一三、第一大隊  
 二〇、八、一三、第一大隊

二〇、八、一四、第二大隊  
 二〇、八、一四、第二大隊  
 二〇、八、一四、第二大隊  
 二〇、八、一四、第二大隊

轉入 轉出  
 十九年以降 十九年以降

人員制編  
 隊 長 名  
 (内は先代を示す)  
 少尉 山田 文雄

關人  
 戰時 駐屯地  
 平 時 戰 時  
 斯伯德 (兼作てに溝又五)  
 倫 泰

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
 入ソ進の變動

隊別  
 計

滿洲殘留

取 收

隊 別	隊 長 名	關人	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ進の變動	隊別 計	滿洲殘留
第一大隊	少尉 山田 文雄	關人	斯伯德 (兼作てに溝又五)					
第二大隊	少佐 松本 吉造 指揮班長 中尉 鶴岡	關人	倫 泰					
第四中隊	中尉 今尾 保	關人	右 同					
第五中隊	中尉 小山	關人	右 同					
部 本 隊	194名	關人	右 同					

部隊名				野砲兵第一〇七聯隊(二)		通稱		風二〇〇〇六		郵便所名	
隊別	隊長名	戦開人	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ返の變動	入ソノ人員	満洲残留	收容所	歸還人員	状況不明者数
第一大隊隊列	少尉 山田 文雄 (内は先代を示す)		斯伯德 (案作てに溝又五)								
第二大隊本部	少佐 松本 吉造 指揮班長 中尉 鶴岡		大石 大 斯伯德								
第四中隊	中尉 今尾 保		右 同								
第五中隊	中尉 小山	194名	右 同								

第一大隊の一々分隊は、  
 二〇、八、一三、第一大隊  
 「ソロン」に於て、完全撤退  
 附近田地に陣地を定め、本隊  
 の陣地を監視せんとす。  
 第二大隊及第三大隊は、  
 谷倉等に於て新隊を準備  
 せしめ、戦車に乗り入れ  
 と交戦す。

二〇、八、一三、第一大隊  
 は戦車を進へ、交戦中に至  
 り戦車隊以外の「トボス」  
 後退並に大隊主力の陣地死  
 守を命ず、戦死約四〇。  
 第二大隊及隊列に引換き交  
 戦す。

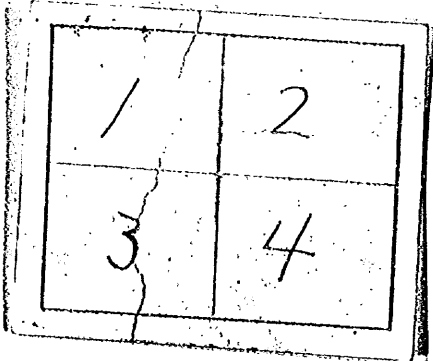
二〇、八、一四、第二大隊  
 及隊列に本隊との連絡を絶  
 し、大隊主力が撤退を決心  
 し、早朝徳橋新を出發「マ  
 ルソン」へ向ふも隊の進路  
 攻撃全として同日夕徳橋新  
 南方二〇軒の地點にて分散  
 潰滅す、爾後三ヶ丘々新隊  
 へ向ひたる隊は  
 損害約一〇〇。

隊 中 六 第	隊 中 五 第	隊 中 四 第	部 本 隊 大 二 第	列 隊 大 一 第
中尉 角田	中尉 小山	中尉 今尾 保	少佐 松本 吉造 指揮隊長 中尉 鶴岡	
194名	194名	194名		
右 同	右 同	右 同	右 同	新伯徳 (乗作にて機又五)
右 同	右 同	右 同	栗石大 新伯徳	倫 察





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0573  
0580  
0581  
0582

第四四章第一〇七師團 部隊名 野砲兵第一〇七聯隊(三)

通稱 號 風二〇〇〇六

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人編	隊別	隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	隊別計	滿洲殘留
<p>二〇、八、一六、第一大隊 一三日より引渡シ、シロン 附近にて陣地強化せるも、四 日に到るも本隊との連絡な く、獨力而下を決す</p> <p>二〇、八、一七、陣地を出 發シ、キムカン島跡九名地 五什名を経て「インドール」 に向ケ</p> <p>二〇、八、二二、師團主力 と合するを得、爾後隊長 の指揮下に入る</p> <p>聯隊本部第三大隊に附屬シ、 上リ「フルンヤン」に復歸 ス、九、二四、〇〇阿地 師團主力と共に新攻隊 二〇、八、二二、勢西口 附近に於て敵機部隊と激 遇、師團主力と共に突撃を 企圖せるも、敵機隊の如く進 歩せず、八、一四、正午、 勢西口下合せり、同日午 後、勢西口、兵隊死傷約四〇 餘、隊止間の道路を「ハヤロ ト」に引渡シ、途中「サマ ン」の集落に依り死亡約三 〇を出す</p>		十九年以降	十九年以降	員人編	隊別	隊長名 (内は先代を示す)	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	隊別計	滿洲殘留
隊中八第	隊中七第	部本隊大三第		列段隊大二第	別隊	隊長名 (内は先代を示す)	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	隊別計	滿洲殘留
中尉 官田 正人	中尉 越智 公夫	少佐 藤野 巖 指揮班長 田中		中尉 才木									
	約100名	山爾阿 (業作てに溝又五)		新伯德 (業作てに溝又五)									
右 同	右 同	台什五・口 西		案石大・斯伯德									
右 同	右 同												

編制人員

部隊名 野砲兵第一〇七聯隊(三)

通稱號 風二〇〇〇六

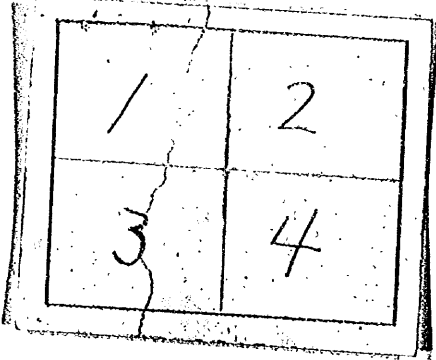
郵便所名

隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	列段隊大二第	別隊	隊長名 (内は先代を示す)	職人 職員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソノ迄の變動	隊別 計	入ソノ人員	滿洲 殘留	收容所名	收容所 人員 死亡	歸還人員 計	狀況不明 者 數
中尉 官田 正人	中尉 越智 公夫	少佐 藤野 巖 指揮班長 田中	中尉 才木	隊長名	職人 職員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソノ迄の變動	隊別 計	入ソノ人員	滿洲 殘留	收容所名	收容所 人員 死亡	歸還人員 計	狀況不明 者 數	
右 同	右 同	山爾阿 (案作てに溝又五)	新伯徳 (案作てに溝又五)														
右 同	右 同	台什五・口・西	秦石大・斯伯徳														
	約100名																



隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	部 本 隊 大 三 第	列 段 隊 大 二 第
中田 秀夫	中尉 官田 正人	中尉 越智 公夫	少佐 藤野 巖 指揮班長 田中	
		約100名		
右 同	右 同	右 同	山爾阿 (薬作にて溝又五)	新伯徳 (薬作にて溝又五)
右 同	右 同	右 同	台什五・口 西	薬石大・新伯徳

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第四四軍第一〇七師團 部隊名 野砲兵第一〇七聯隊(四)

通稱號風二〇〇〇六

郵便所名

0583	0584	0585	0586	全般概要	轉入	轉出	員人制編	別隊	隊長名	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ迄の變動	入ソ人員	滿洲残留	
				二〇、八、二七、大石隊に て四散せる聯隊隊列の一部 を奉還五什台の戦手に参加 二〇、八、二八、敵隊を突 破「イントール」に到着 二〇、八、二九、「イント ール」にて終戦式解 二〇、九、二、興安新隊 二〇、九、一四、第伍新隊 二〇、一〇、一五、チチハ ル小民屯に敗戦 二〇、一〇、三三、「ヤチ ン」に敗戦 滿州里經入「ソ」	十九年以降	十九年以降		第三大隊 中尉 佐々木 仁 聯隊 中尉 石川 弘	( )内は先代を示す 山爾阿 (業作てに溝又五) 斯伯德 (業作てに溝又五)	平 時 戰 時	駐 屯 地 西口・五什台 斯伯德・大石寨					





二〇、八、二八、松本藩の  
 藩主・松平定信の御筆  
 による「松本藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、八、二八、松本藩  
 藩主・松平定信の御筆  
 による「松本藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、八、二九、一、イ  
 「松」にて署名式解

二〇、九、二、奥平藩  
 藩主・奥平昌高の御筆  
 による「奥平藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、九、一四、徳信藩  
 藩主・徳信頼朝の御筆  
 による「徳信藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、一五、チナ  
 藩主・チナ藩の御筆  
 による「チナ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

二〇、一〇、三三、ナチ  
 藩主・ナチ藩の御筆  
 による「ナチ藩の御  
 筆」にて署名式解

	列 段 隊 聯	列 段 隊 大 三 第
	中尉 石川 弘	山崎 佐々木 仁
	斯伯德 (業作にて溝又五)	山崎河 (業作にて溝又五)
	松石大・斯伯德	台什五・口 丙

	聯隊段列	第三大隊段列
	中尉 石川 弘	中尉 佐々木 七
	新伯徳 (業作ては溝又五)	山崎阿 (業作ては溝又五)
	桑石大・新伯徳	台什五・口 丙